隈府小だより

学校教育目標「自ら考え なかまと高め合う 隈府小」

隈府小学校
学校だより No4
文責 芹川博文
5月2日（金）

「没頭する」瞬間を　「味わう」ひと時を

下の図は、今年度の学校目標「自ら考え、なかまと高め合う隈府小」を達成するためのグランドデザイン（構想案）の一部です。失敗を恐れず、やりたいこと、なりたい自分を思い描き、やってみて味わうことで、主体的な思考と行動力が身につくと感じます。特に最近は、「味わう」時が少ない気がします。味わう間もなく次々とこなし続け、疲れてしまいがちです。

Creative 思い描く ⇨ **Active やってみる** ⇨ **Reflective 味わう**

○考えるスペース・達成感ある児童会活動
○「本物」に触れる学び、体験活動
○没頭する時間、分かる授業

⇨ 「明日が楽しみ」な学校
（Well Being な学校づくり）

日常の生活でも、「没頭する」瞬間と「味わう」ひと時は大切だと感じます。

私は、休日に家庭菜園で草を取ったり、くわで耕したりしていると、いつの間にか時間を忘れてしまいます。気づけば日が暮れかかっていることも。そんな「没頭する」瞬間は無心になり心が洗われる感覚がします。作業を終え、その菜園を眺める「味わう」ひと時も大好きです。眺めながら、次にやりたいことが見えてくることも多々あります。

学校生活でも、この「思い描く」→「やってみる」→「味わう」のサイクルを大切にできたらと考えます。そのためには、子どもたちがワクワクして思い描く「考えるスペース」や、無心になって没頭する「本物に触れる学び」等が大切な要素になります。授業でも授業外でも、子どもたちの目が輝き夢中になれる「明日が楽しみ」な学校を目指します。

児童昇降口の靴から見えてくるもの

児童昇降口に並んだ靴を見るのが好きです。それぞれの家から「行ってきます」と言って登校し、学校で過ごす子どもたちの姿を想像します。登校指導をしていると、兄姉が１年生の弟妹を連れて登校する、ほほえましい姿も見られます。中には、中学生の兄姉に手を振りながら、隈府小学校の南門と菊池南中学校の正門で別れる姿も。小中学校が近くで良かったと思える瞬間です。中学生もよく挨拶してくれます。

学校に慣れるまで「朝が勝負」のお家もあることかと思います。特に出だしの４月、そしてゴールデンウィーク明けなど、いくつか「山場」があります。それでも、様々な経験を通して、心も体もたくましく成長していく子どもたち。一人一人、ペースは違います。声の掛け方、手の差し伸べ方など難しさを感じることもあるかと思いますが、学校とご家庭とで連携を図りながら、自立（自律）に向けて見守り支えていけたらと考えます。

右上の写真は、１年生の給食当番の子どもたちの姿です。栄養教諭の森本先生に、「いただきます」と大きな声で言っている姿を見て、「１年生も学校生活に慣れてきた」と感じました。

明日から４連休。その後は、いよいよ運動会の練習が始まります。気温も高くなることでしょう。この連休は、くれぐれも事故に気をつけて安全に過ごし、５月７日（水）の連休明け、元気に登校してくる姿を楽しみにしています。